

令和3年度「LIP.横浜」「I・TOP 横浜」プラットフォーム推進事業業務委託
業務説明資料

本資料に記載した内容には、現在、検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とする。

1 件名

令和3年度「LIP.横浜」「I・TOP 横浜」プラットフォーム推進事業業務委託

2 業務目的

本市では健康・医療分野及びIoT等先端技術のイノベーションを持続的に創出していくために、「横浜ライフイノベーションプラットフォーム（以下「LIP.横浜」と言う。）」及び「IoTオープンイノベーション・パートナーズ（以下「I・TOP 横浜」という。）」の両プラットフォームを推進している。

本事業は「LIP.横浜」と「I・TOP 横浜」の両プラットフォームを相互に効率的・効果的に運営することで、横浜経済の活性化及び市民の利益の向上を図ることを目的としている。

3 事業の背景と今後の方向性

本市では、ライフサイエンス分野の可能性に早くから着目し、これまでも、研究環境の整備や総合特区制度などを活用した企業・研究機関のプロジェクト支援などに取り組んできた。持続的なイノベーション創出に向け、多くの企業・大学・研究機関の力を結集し、新たなアイデアを出し合う場を作るとともに、そこから生まれたアイデアを着実に育てていく仕組みが求められる中、平成28年12月にLIP.横浜が発足した。会員区分として、主に中小・ベンチャー企業が参画する「一般会員」と、大企業や大学、病院など、一般会員とは別にLIP.横浜へ様々なリソースを還元する「協力機関」と、2つの会員区分を設けている。

また、I・TOP 横浜は横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）の先端技術に関する新ビジネス創出を目指して平成29年4月に立ち上げた。これまで、社会課題解決を目指すべくI・TOP 横浜参画企業による個別プロジェクトの創出（「自動運転プロジェクト」、「未来の家プロジェクト」など）や、中小企業の生産性向上につながる取組み、マッチングイベント、展示会への出展支援などを実施してきた。両プラットフォームには、令和2年度12月末現在で、LIP.横浜 328社・団体（うち協力機関 98社・団体）、I・TOP 横浜 548社・団体が参画している。

今後については、LIP.横浜とI・TOP 横浜を相互に連携させることで、両プラットフォームを活かし、新たなビジネス創出に向けて取組を推進する。

4 事業概要

- (1) 委託契約期間
契約締結日から令和4年3月31日までとする。
- (2) 概算業務価格
19,000,000円(税込)を上限とする。
- (3) 履行場所
横浜市内等

5 委託業務概要

- (1) 委託内容
 - ア LIP.横浜関連業務
 - (ア) 協力機関の拡充・調査
 - (イ) プロジェクト化を進める支援機関への支援
 - イ I・TOP 横浜関連業務
 - (ア) プロジェクト創出に関する業務
 - a ワーキンググループの開催
 - b I・TOP 横浜ラボの実施
 - c プロジェクト化支援
 - (イ) I・TOP 横浜の効果的な運営
 - a I・TOP 横浜へのプロジェクト提案受付
 - b I・TOP 横浜実証ワンストップセンターの受付
 - ウ LIP.横浜及びI・TOP 横浜共通の業務
 - (ア) 委託者との会議の開催
 - (イ) その他
 - a 中長期的な事業の方向性に関する情報収集・分析
 - b 委託者・受託者間で別途合意した業務を行う。
- (2) 報告書の提出
 - ア 事業実施結果報告書(簡易製本にて1部のほかに電子データにより納品)
 - イ その他委託者が必要と認めるもの

6 委託料の支払い

事業実施結果報告書を提出後、委託者が検査した後に支払うものとする。

7 条件・仕様など

- (1) 参考見積書

上記概算業務価格に基づき、参考見積書を作成し、提出するものとする。

なお、提案する事業内容に応じ、金額の内訳を明確にするものとする。

(2) その他

別添「業務委託仕様書」のとおり